



＜R6 キャッチフレーズ＞

「みんなで助け合い、みんなで学び、笑顔あふれる星西の子」

校長 永里 智広

全校児童500名の笑顔あふれる星峯西小のR6がスタートしました。子どもたちは、落ち着いた態度で真剣なまなざしをしています。“新しい学び”との出会いを楽しみにしていたようでした。

新たなステージに寄せる子どもたちの期待に応えることができるよう、私たち職員も研鑽し一丸となって頑張ります。

さて、社会を取り巻く環境は急速に変化しています。次代を担う子どもたちが、社会をたくましく生き抜いていくために必要な資質を育てなければなりません。時代を超えて変わらない大事なものを考えたり、時代とともに挑戦しなければならないものに積極的に取り組んだりしながら、自他共によりよい生き方を求める学びを展開していきたいと思えます。

□ 不易を見据え、日々新たに（初めに子どもありき、和やかに迎え温かく対応）

本校は、創立44年目を迎えます。これまで星峯西小で大事にされてきたことは何かを子どもとともに考え、継承していく教育活動を実践します。

一方で、GIGAスクール構想や英語教育など、新時代の学習もさらに充実させていきます。タブレット端末の活用については、昨年度に引き続き積極的に授業の中で活用するとともに、家庭学習での活用についても工夫を加えてまいります。デジタルの限界と効用を見極めつつ、アナログのよさも再確認しながら、個々の学びと協働的な学びの充実を図る授業をデザインしていきます。また、英語に慣れ親しむ学習も英語専科を中心に積極的に進めていきます。

□ 「利他の心」を大事に、切磋琢磨で（主体的・対話的で深い学び）

「利他の心」とは、「友達に心を向け、一緒に考えたり行動したりする心の営み」と捉えています。学級や学校全体の中で、一人一人が持ち味を出して光り輝く活動を目指します。友達と一緒に考えて考え、取り組み、達成していく学習経験はとても大切です。このような学びの先には、互いに理解し合い協力し合う姿勢の育ちや、道徳観や倫理観の醸成、責任をもって遂行する力につながるものと考えます。

日々の学習活動では、子どもたちの自己肯定感を高めるために、一人一人の見方・考え方・感じ方を大事にしながら、友達と切磋琢磨する対話活動を取り入れた授業を工夫していきたいと思えます。また、目標が達成できなかつたり活動が滞ったりする場面をポジティブに捉え、活動の振り返りを行いながら、さらに挑戦していく営みを大事にしていきます。

□ 家庭・地域と共に全ての子どもへの寄り添い（郷土愛、相互協力）

PTA及び学校運営協議会をはじめ、保護者や地域の方々の協力を得ながら。地域と共に前進する星峯西小を目指します。

本校では、全ての子どもにプラス1を目指し、一人一人のニーズを捉えて教育活動を進めていこうとしています。子どもの様子で気になることがあったら、遠慮なく担任または学校へ相談していただきたいと思えます。一緒に考えていきましょう。